

やすらぎだより

11
月
号

陽気で緑にあふれた生活 それやすらぎ園です

施設長コラムバックナンバーホームページ掲載しています。

コラム第161号

「 ああラン^{トモ}伴 」

施設長 植田 誠



10月21日午前10時、空はきりっと澄みあがった秋日和、心地良い風は車椅子で見送られる入居者さん方には少々寒いようだが、身体動かす我々には絶好の気候であった。

「施設長、21日のラン伴を是非一緒に走って下さい！」

普段は、穏やかで口数もそんなに多くはない地域包括支援センターのSさんは、心に秘めた想いの言葉を私に投げ掛けた。

一つのイベントに対する参加依頼だけではない、彼の決意のようなものを感じた私に断る判断はなかった。ランニングがライフワークでもある私自身のことを見越しながらも、彼が初めてとも言える強い訴えであったことが印象的だった。

そもそも「ラン伴」とは、2011年に始まった認知症の啓発イベントである。「認知症の人と一緒に暮らしやすい社会を」をコンセプトに、各地域で一つのタスキを繋ぐことで、認知症の人々の日常を支えることを目的としている。

ランニングのことには‘うるさい’私に対し、過去に福祉医療関係者の何人かからの依頼を受け、県内で何度かこのラン伴を走ったことはあったが、正直、私には向いていないと感じていた。このイベントそのものに対しては全く否定するつもりはないが、どうも向いていないと思う自分がある。アスリート性を追い求めているからなのか、‘走る’とはこうあるべきだと考えているのか、いずれにせよ偏屈な自身の勝手なこだわりは、現在も抜け切れてはいない。

当日、そんな私を待ち受けていたのは、見送って下さる入居者さんと地元の公民館やお隣の施設で待っていて下さった多くの方々、そして清々しい青空。歪んだ自身のこだわりは、日毎に薄らいでいる。

ラン伴とはランニングではない、ラン伴とは個人のこだわりでもない。3.5kmの道程を、オレンジの同じTシャツに身を固めた仲間のランナーは、その満足感とその笑顔で私に問いかけていた。



社会福祉法人やすらぎ会 実施事業

- | | |
|-------------------------|----------------|
| ○特別養護老人ホーム やすらぎ園 | ○ケアハウス やすらぎ |
| ○在宅サービス事業所
居宅介護支援事業所 | ○介護予防関連事業 |
| 訪問介護事業 | ○グループホーム むつみあい |
| 訪問入浴介護事業 | ○住まいの生活支援事業 |
| ○短期入所生活介護事業 | |
| ○在宅介護支援センター | |
| ○天理市東部地域包括支援センター | |